

## 元気と笑顔のプレゼント

### 笑顔バスがやってきました

2月10日、笑顔バスが第二児童館を訪れました。この笑顔バスは、東日本大震災で被災した子どもたちに元気と笑顔をお届けようと有限会社プランニング開の子どもの笑顔元気プロジェクトが運営するもの。この日は、1年生から3年生の73人が、クラウン（ピエロ）のあんさんのバルーンアートやジャグリングなどのパフォーマンスを楽しみました。

参加した児童は「一輪車で縄跳びがすごかった。マジックもどうなっているのかとても不思議です」と笑顔いっぱい話してくれました。



▲クラウンあんさん（右）のパフォーマンスに参加する児童たち

## 元気に追いかけて、「取ったど〜！」

### 第39回動くジャンボカルタ取り大会

2月10日、横約40cm、縦約50cmの大きな絵札を背負って逃げる児童を追いかける、白川小学校の冬の恒例行事「動くジャンボカルタ取り大会」が同校で行われました。この日は全児童61人が参加。学年縦割りの4チームに分かれて絵札の獲得枚数や絵札の出来栄などで得点を競いました。今年のテーマは「学校」で、絵札や読み札はすべて児童たちの手作り。児童たちは、当日の朝に降り出した雪がうっすらと積もった校庭を元気に走り回っていました。また、今春に同小へ入学予定の園児なども一緒に参加し、交流を深めていました。



▲うっすら雪が積もる校庭を元気に走り回る児童たち

## 全国大会での活躍を誓う

### ソフトテニス2選手が全国大会へ

2月4日、第27回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会に出場する小室宗士選手（白石中学校2年）と第15回全国小学生ソフトテニス大会に出場する中村倅青選手（福岡小学校6年）の二人が、寒風が吹き付ける益岡公園テニスコートで練習を行いました。

二人はこれまでも宮城県のトップ選手として活躍し、全国大会への出場経験も豊富。3月下旬に開催される今大会には「全国優勝」「ベスト4」と高い目標を設定し挑みます。将来の夢も「全国で活躍」「アジア大会優勝」などと目を輝かせながら話してくれました。



▲ラケットでVサインを作る中村選手（左）と小室選手（右）

## 伝統文化を体験

### 東中2学年親子行事「能楽体験セミナー」

1月29日、東中学校2学年親子行事「能楽体験セミナー」が碧水園で行われました。この催しは、生徒たちに日本の伝統文化への理解を深めてもらおうと同校2学年のPTAが企画。2年生とその保護者約170人が参加しました。この日は、プロの能楽師小島英明さんを講師に招き、碧水園には東北でも有数の本格的な屋内能舞台があることや能の始まりなどを学びました。その後、生徒の代表者が能のすり足や能面を着けての歩行などを体験。生徒は「伝統文化を体験でき、良い経験になりました。楽しかったです」と笑顔で話してくれました。



▲小島さんに太鼓のたたき方を教わる生徒

## 今年もいいことがありますように！

### 市内園児たちがすまゝひろばで豆まき

2月1日、市内保育園・幼稚園の園児たちによる豆まきすまゝひろばで行われました。この催しは白石まちづくり株式会社（吉見光宣代表取締役社長）が企画。11回目を迎えた今回は、認可保育所あそびの森と第二幼稚園、ひかり幼稚園の園児約300人が参加。園児たちは、ひろばに現れた赤鬼と青鬼、黄鬼が扮した「ちらかし鬼」たちを見つけては、新聞紙を丸めて作った「豆」を投げつけ、鬼たちをこらしめました。その後、反省した鬼たちと仲直りした園児たちは、一緒にダンスを踊り楽しい時間を過ごしました。



▲鬼と一緒にダンスを踊る園児たち

## 一歩ずつ前に進んでいきましょう

### 白石市手をつなぐ育成会 新年を祝う会・成人を祝う会

1月17日、障がい者を有する子どもとその家族でつくる「白石市手をつなぐ育成会」（巨泉猛会長）が「新年を祝う会・成人を祝う会」を大平公民館で開催し、新たな門出を祝いました。巨泉会長は「失敗しても一歩ずつでも前に進んで行くように頑張ってください」とあいさつ。新成人の北山樹さんは「仕事をいっぱいして早く一人前になれるように頑張ります」と抱負を述べました。北山さんが書き初めを披露した後、障がい者を有する子どもたち中心のダンスユニット「ちゃれんじど」がダンスを披露するなど、みんなで新年と成人を祝いました。



▲列席者の前で書き初めを披露する北山さん（写真中央奥）

## 友達を尊重する心を大切に

### 大平小学校で人権教室

1月28日、人権擁護委員による「人権教室」が大平小学校で開催され、同校の6年生14人が参加しました。

この教室では、人権啓発ドラマ「リスペクト アザース」を鑑賞。「友達の良いところを知っていますか」という問いかけに、お互いの個性や違いに気づきそれを尊重することの大切さについて考えを深めました。

教室後の感想文には「努力している人を尊重していれば素晴らしい社会になる。ほかの人のことを尊重し合い、自分の個性を大切にがんばっていききたい」など、人権について真剣に考えた様子が見られました。



▲人権擁護委員と人権について一緒に考える児童たち

## 新年最初の腕試し

### 第54回新春囲碁・将棋大会

1月17日、「第54回新春囲碁・将棋大会」を中央公民館で開催し、新年最初の腕試しを行いました。

この大会は、市内の囲碁・将棋の愛好家たちの実力向上と親睦を図ろうと毎年開催しているもの。今年は、小学生から80代まで、過去最多の約90人が参加しました。

大会は、実力に応じてそれぞれグループに分かれ対戦。会場のあちこちで、白熱した対局が繰り広げられました。参加者は「市外からの参加も徐々に増えて、伝統のある大会になってきました。毎年、楽しく参加しています」と笑顔で話してくれました。



▲真剣な表情で対局をする参加者たち